

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和7年2月15日(土) 実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

2-1

地理学専攻

I 以下の2つの問題に答えなさい。解答は別紙の解答用紙に記入すること。

1. 次の英文はある論文の要旨である。これを読んで設問に答えなさい。



(Scaioni et al., 2014. Remote Sensing, 6, 9600-9652)

問1 最近数十年間に地すべりの発生頻度が増加している理由が何であると述べているか。

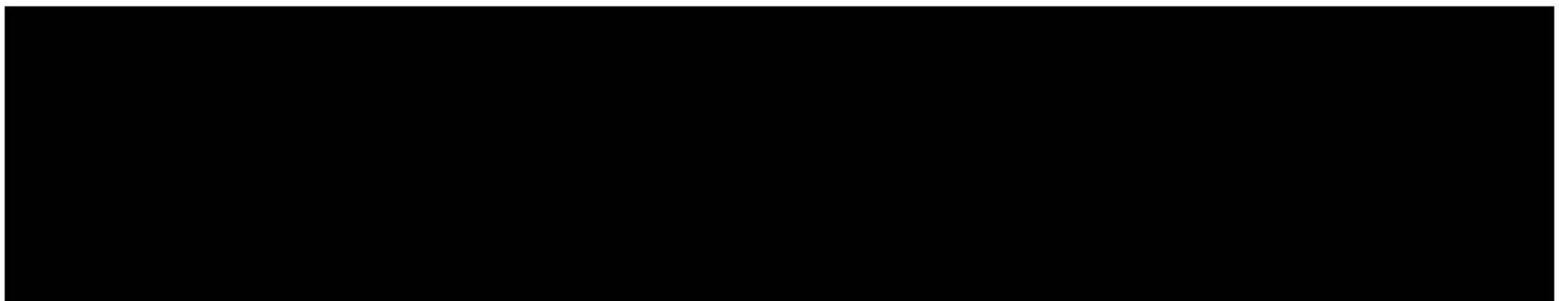
問2 下線部1の three main classes の3つの内容を上の文章に即して説明しなさい。

問3 下線部2を日本語に訳しなさい。

問4 この論文のタイトルとして最も適切と考えられるものを次の(A)～(E)の中から一つずつ選び、日本語に訳しなさい。日本語訳の冒頭に(A)～(E)のいずれかの記号を付すこと。

- (A) The glaciers climate change initiative: Methods for creating glacier area, elevation change and velocity products
- (B) Use of satellite remote sensing data in the mapping of global landslide susceptibility
- (C) Significant remote sensing vegetation indices: A review of developments and applications
- (D) Primary production, an index of climate change in the ocean: satellite-based estimates over two decades
- (E) Remote sensing for landslide investigations: an overview of recent achievements and perspectives

2. 次の英文は気候区分について説明した文章である。この気候区分がどのようなものであるのかについて、この文章の内容に即して200字前後の日本語で記述しなさい。



(The Dictionary of Physical Geography ed. by David S. G. Thomas)

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和7年2月15日(土) 実施

科 目 名
英 語

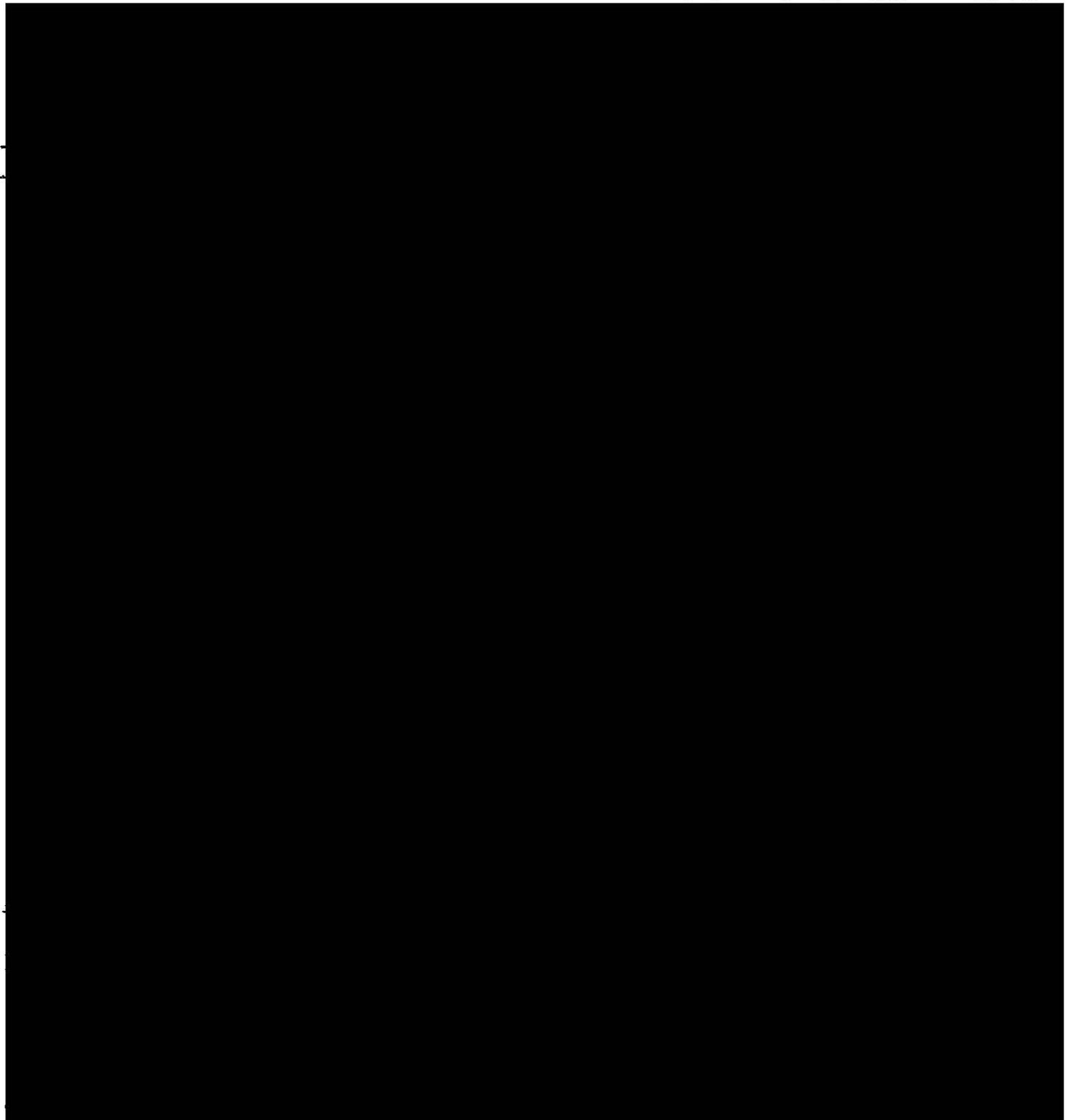
受験番号	氏 名

地理学専攻

2-2

【解答は別紙解答用紙へ】

Ⅱ 次の文章は、Tigran Haas and Krister Olsson eds., 2014, *Emergent Urbanism*. London and New York: Routledge の一節である。文章を読み、下の問い1と2に答えなさい。



1. 下線部アを日本語に訳しなさい。
2. 下線部イを日本語に訳しなさい。

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般入試)

令和6年10月5日(土) 実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

地理学専攻

2-1

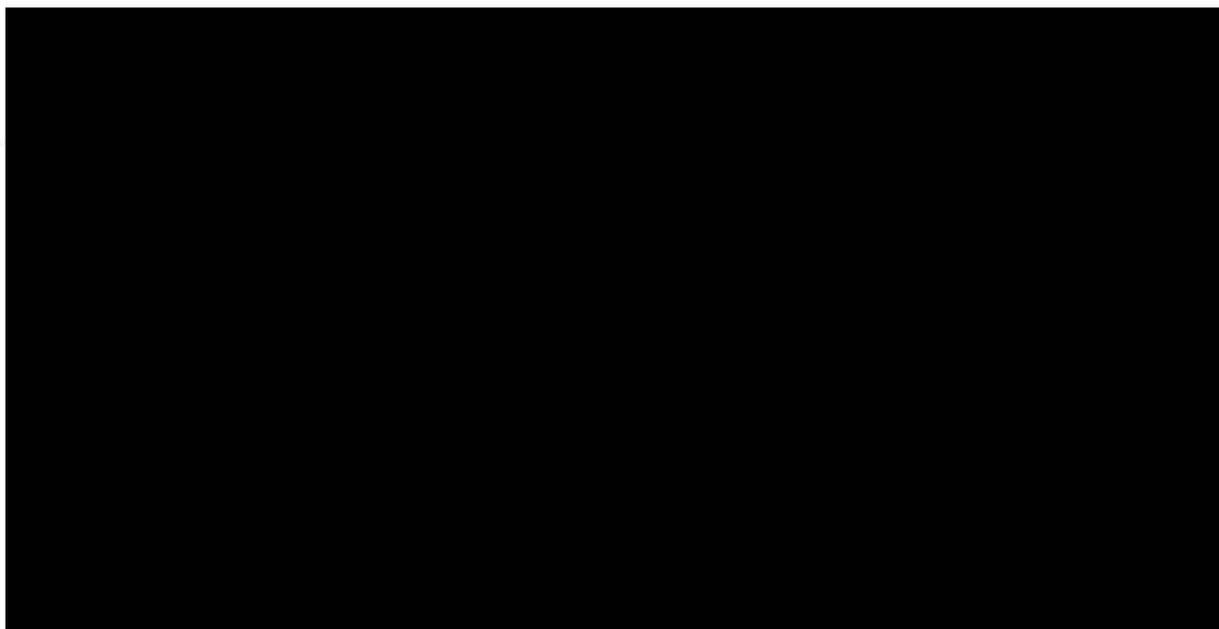
【解答は別紙解答用紙へ】

I. 次の英文は、UNESCO のサイトにある World Heritage の事例を紹介した文章である (<https://whc.unesco.org/>)。これに関して以下の問いに答えなさい。解答は別紙 (裏面使用可) の解答用紙に記入すること。

①



②



- (1) ①の下線部の文章を日本語に訳しなさい。
- (2) ②の文章中で用いられている、下線部の語の意味について日本語で説明しなさい。
- (3) World Heritage の意義や課題について日本語で述べなさい (300字程度)。

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般入試)

令和6年10月5日(土) 実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

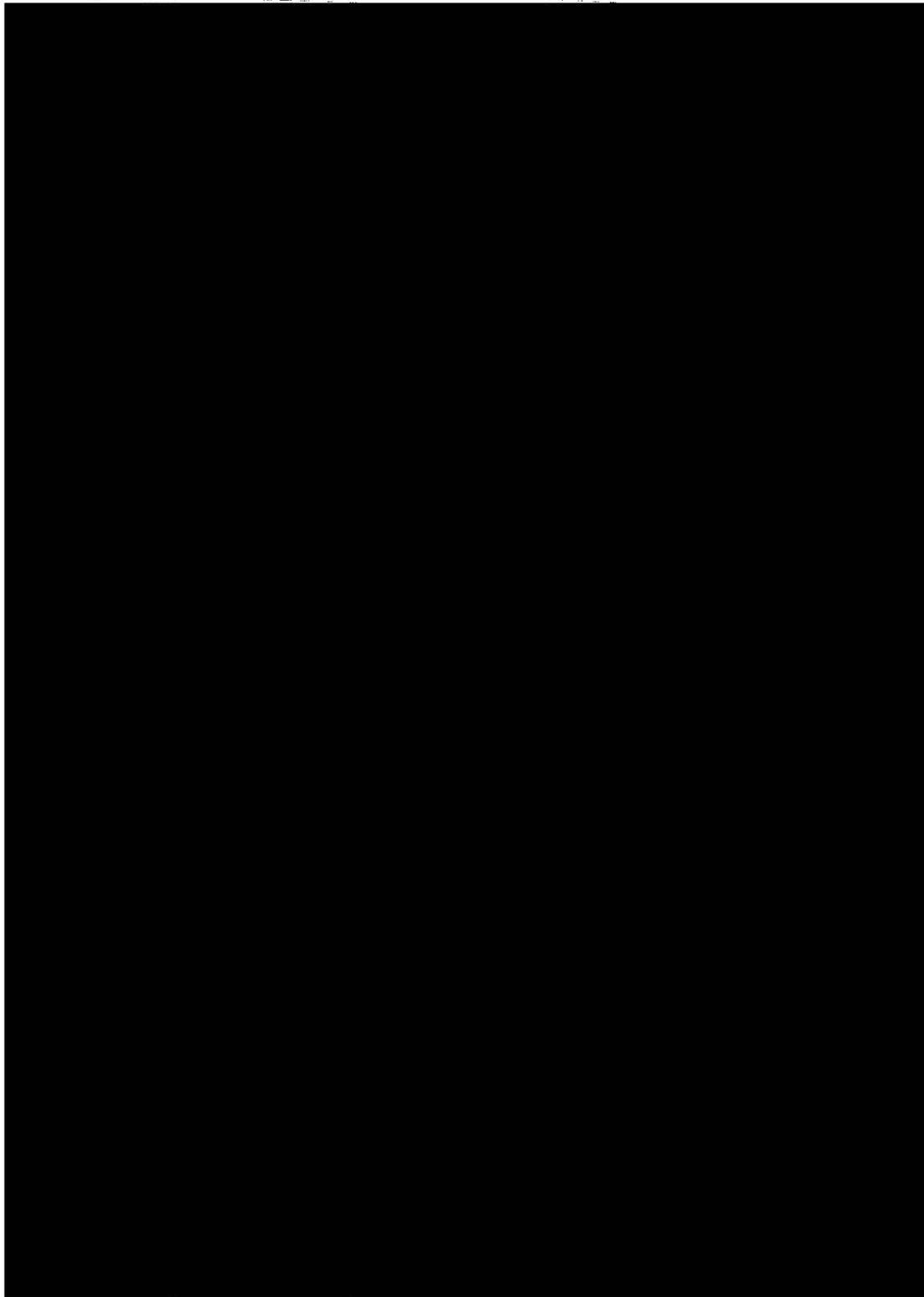
地理学専攻

2-2

【解答は別紙解答用紙へ】

II. 以下の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

1. 下線部①に関して、具体的に説明しなさい。
2. 下線部②を和訳しなさい。
3. 下線部③を和訳した上で、その理由を説明しなさい。



令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和6年2月17日(土) 実施

科 目 名
英 語

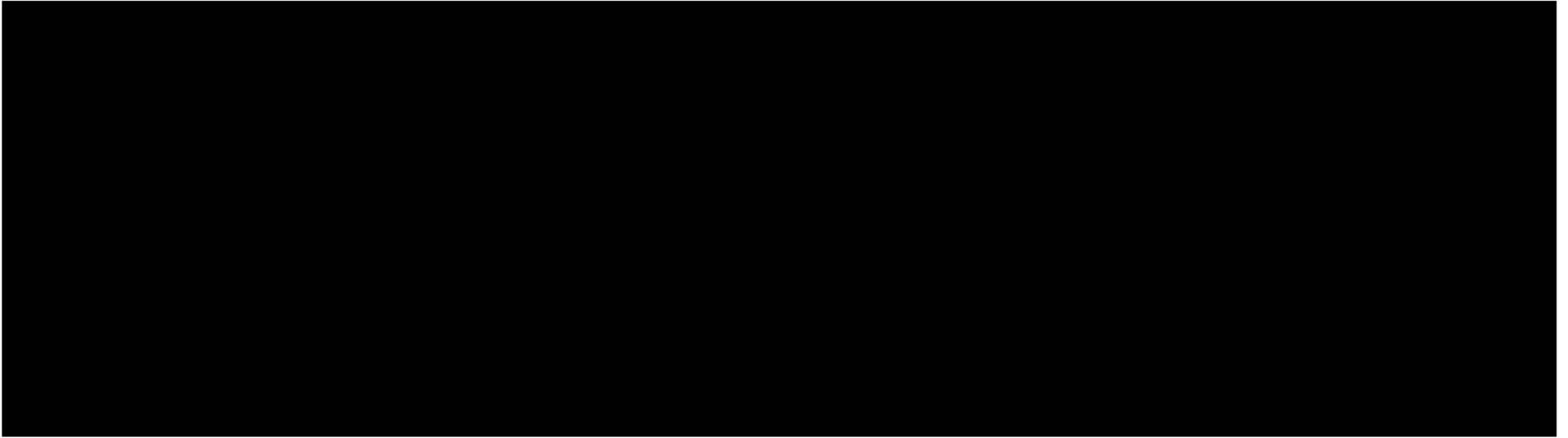
受験番号	氏 名

地理学専攻

2-1

I. 以下の2つの問題に答えなさい。解答は別紙の解答用紙に記入すること。

1. 次の英文を読み設問に答えなさい。



(Introduction to Human Geography (Caitlin Finlayson).)

問1 下線部を和訳しなさい。

問2 文章中に、ごく簡単に globalization がどのような考え方なのかを述べている部分がある。その内容を日本語で説明しなさい。

問3 globalization が進むと、地域にどのような問題が起こるか。文章中に例示されている内容を日本語で説明しなさい。

2. 次の用語①～⑤は説明文(A)～(E)のいずれかと対応している。用語①と②に対応する文を(A)～(E)の中から一つずつ選び、和訳しなさい。和訳の冒頭に①～⑤の数字と(A)～(E)の記号を付すこと。

①environmental determinism ②gentrification ③migration ④slash-and-burn agriculture ⑤central business district

(A) The movement of a person or people from one country, locality, place of residence, etc., to settle in another.

(B) An area in the center of a city or town in which business premises are concentrated; abbreviated CBD.

(C) Designating a method of shifting cultivation in which vegetation is cut down in an area of virgin or rejuvenated forest, allowed to dry, and then burned off before seeds are planted.

(D) The process whereby the character of a poor urban area is changed by wealthier people moving in, improving housing, and attracting new businesses, typically displacing current inhabitants in the process.

(E) The theory that environment (frequently as opposed to heredity) is the primary influence on development, esp. that of a person or group.

(The Oxford English Dictionary)

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和6年2月17日(土) 実施

科目名
英語

受験番号	氏名

地理学専攻

2-2

【解答は別紙解答用紙へ】

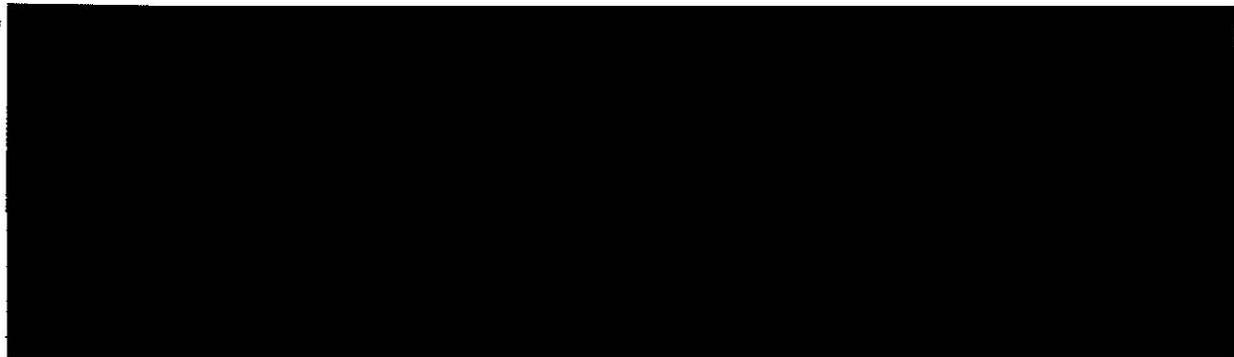
Ⅱ 次の英文は、Dartmouth College のサイト (<https://www.library.dartmouth.edu/>) に表示される地理学関連書籍の題名と簡単な内容紹介である。これに関連して、以下の問いに答えなさい。

- (1) 書籍 A, B, C のタイトル全てを日本語に訳しなさい。解答用紙には、A, B, C のどれに対応する解答なのかがわかるようにすること。
- (2) 書籍 C の紹介文の全範囲 (□で囲んだ部分) を日本語に訳しなさい。
- (3) 書籍 A や C の ISBN とは何か、あなたの知るところを日本語で簡潔に説明しなさい。

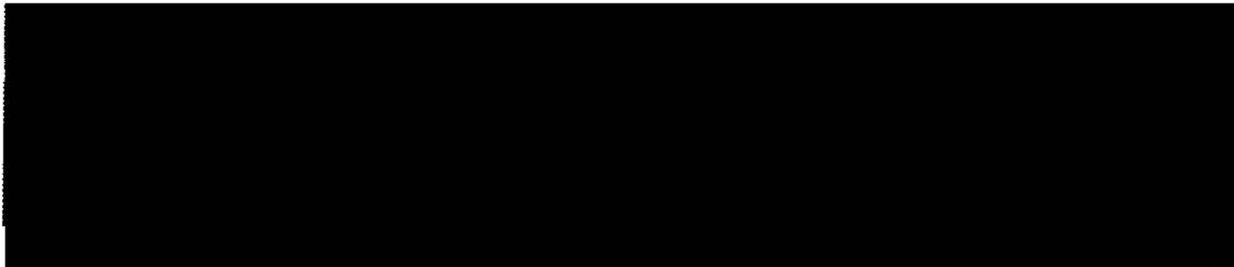
A



B



C



令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般入試)

令和5年9月30日(土) 実施

科目名
英語

受験番号	氏名

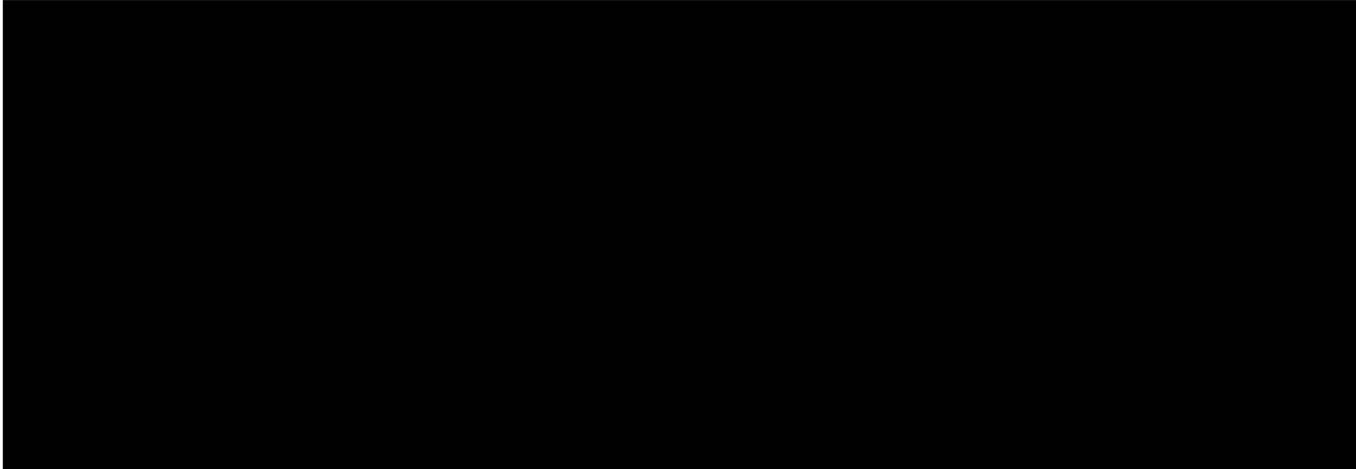
2-1

地理学専攻

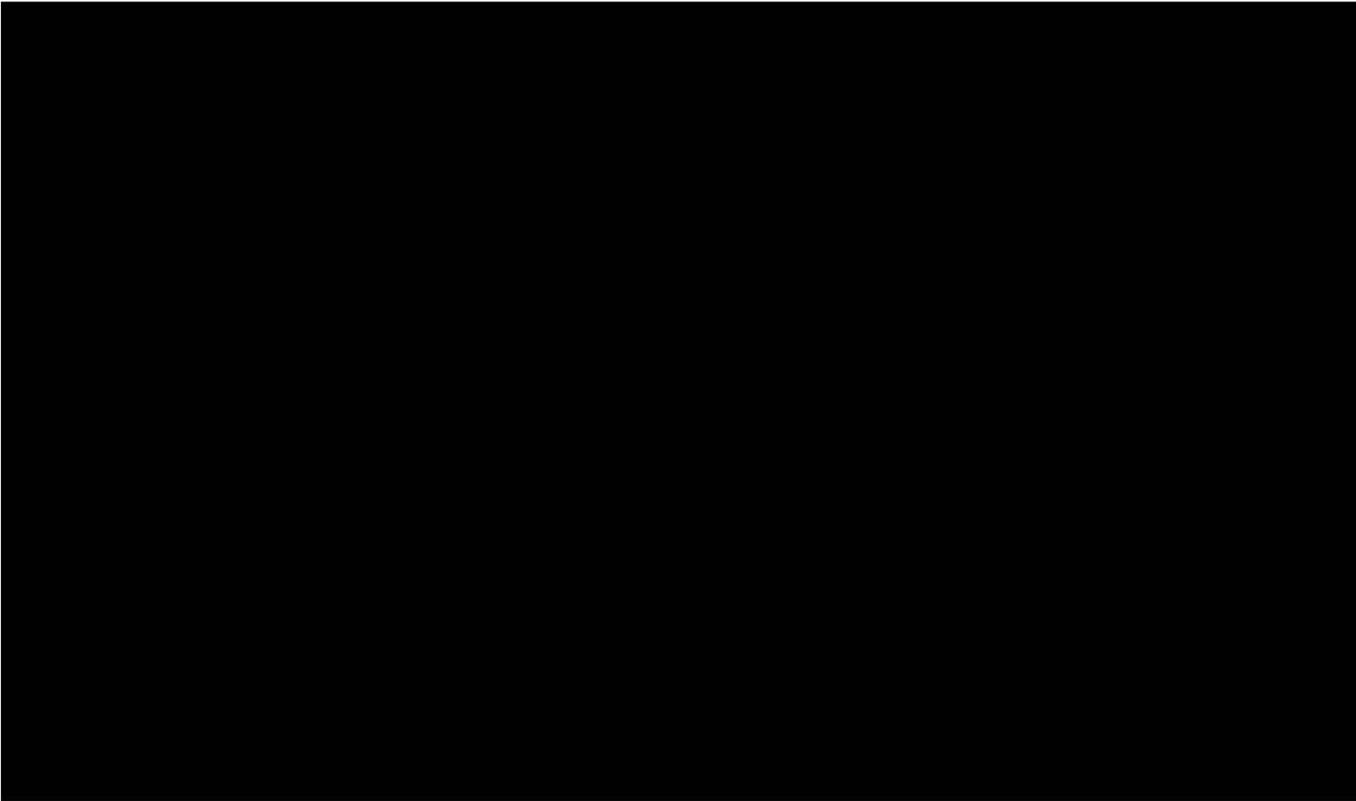
【解答は別紙解答用紙へ】

I. 次の英文 (1) (2) を読んで以下の設問に答えなさい。

英文 (1)



英文 (2)



英文 (1) (2) 出典：国連経済社会局 "Policy Brief, No.153"

問1 英文 (1) の下線部 (a) を日本語に訳しなさい。

問2 英文 (1) の下線部 (b) を日本語に訳しなさい。

問3 中国では「一人っ子政策」以前には、人口増加抑制のためにどのような政策が採られていたか。英文 (2) の内容をもとに日本語で説明しなさい。

問4 インドの出生率の変化や関連する政策はどのようなものであったか。英文 (2) の内容をもとに、インド国内の地域差にも言及しつつ、日本語で説明しなさい。

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般入試)

令和5年9月30日(土) 実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

地理学専攻

2-2

【解答は別紙解答用紙へ】

II. 以下の2つの問題に答えなさい。解答は別紙の解答用紙に記入すること。

1. 次の英文を読み設問に答えなさい。



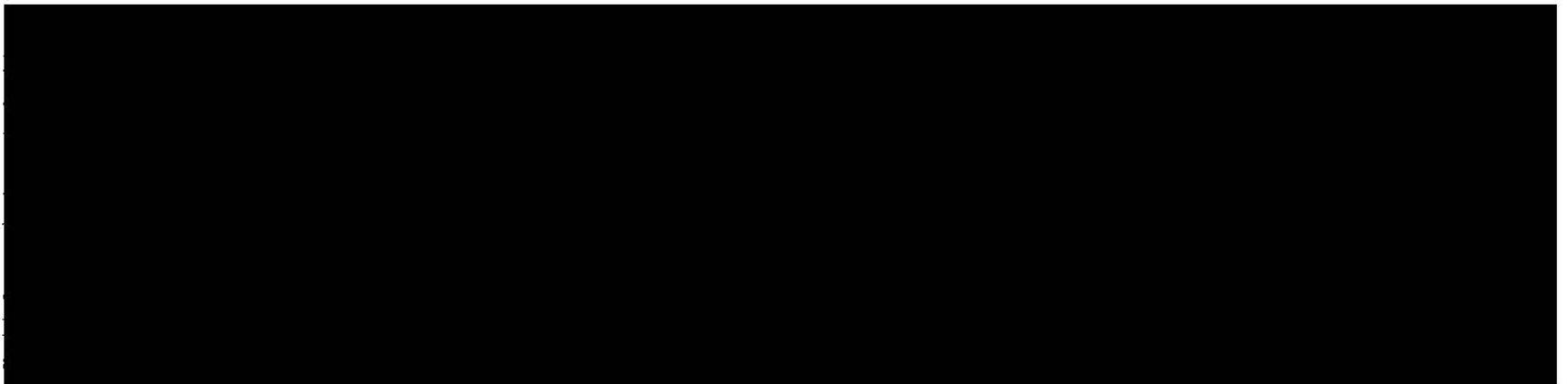
(Matsumoto et al. 2017 J ENVIRON SCI, 59, 54-62.)

問1 下線部アについて former の内容が具体的にわかるように和訳しなさい。

問2 下線部イを和訳しなさい。

問3 1945年ころの東京の気温低下の原因として考えられることとして、どのようなものがあるか。文章の内容に即して日本語で答えなさい。

2. 次の英文を読み設問に答えなさい。



(National geographic ENCYCLOPEDIA ENTRY 'Anthropocene')

問1 下線部アを和訳しなさい。

問2 人新世という言葉の語源について、文章の内容に即して日本語で説明しなさい。

問3 人新世が完新世と異なるのかどうかについて、二つの争点が述べてある。どのような争点があるのかについて、文章の内容に即して日本語で説明しなさい。

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和5年2月25日(土) 実施

科目名
英語

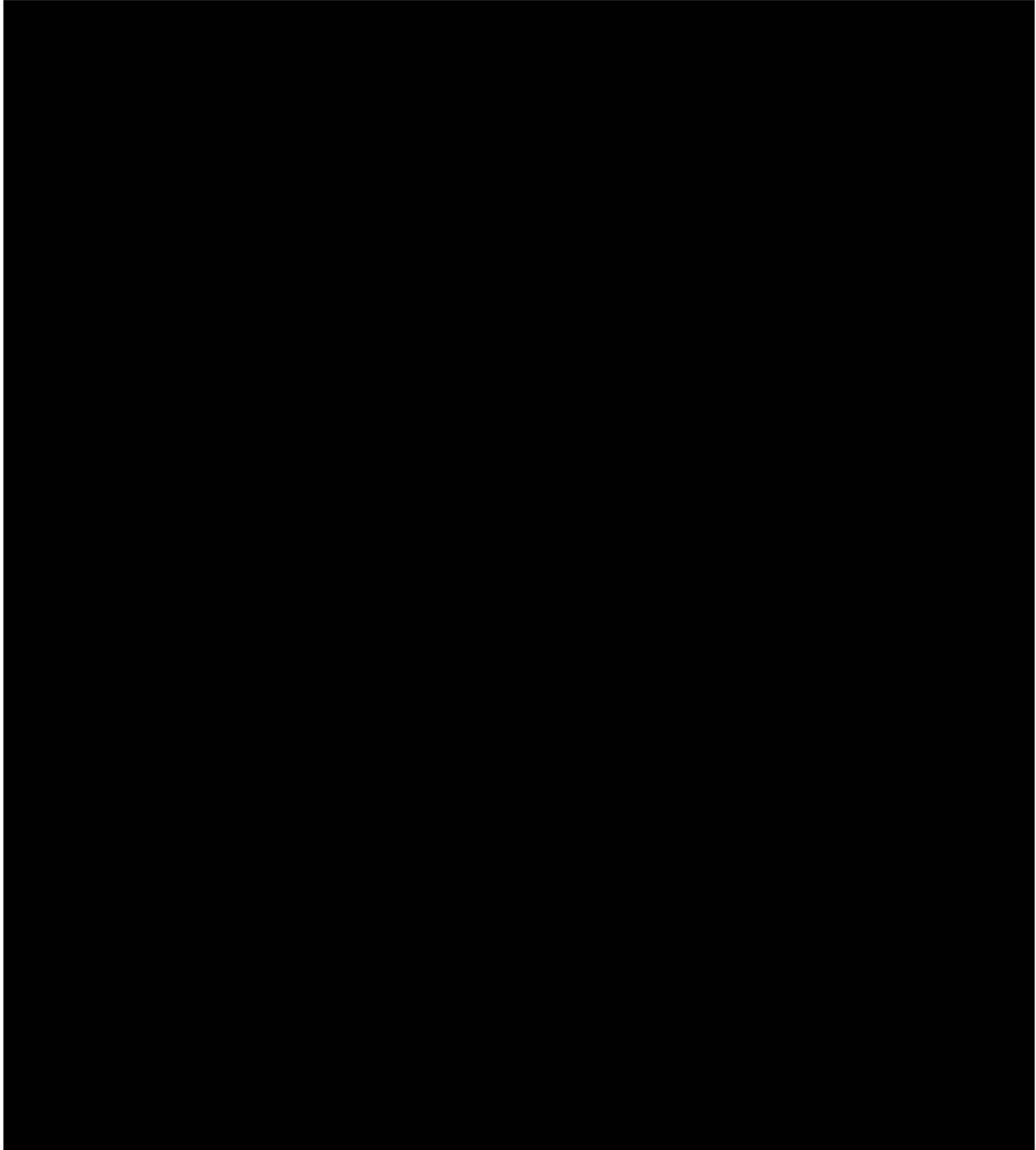
受験番号	氏名

2-1

地理学専攻

I. 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

【解答は別紙解答用紙へ】



(Maloutas, T. and Karadimitriou, N. eds. 2022. *Vertical Cities : Micro-segregation, Social Mix and Urban Housing Markets*)

問1 下線部を和訳しなさい。

問2 Vertical segregation が、世界の各都市において、それぞれ異なるかたちでみられることを具体的な事例を挙げて示しなさい。

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和5年2月25日(土) 実施

科 目 名
英 語

受験番号	氏 名

2-2

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

II. 次の英文は、日本政府の
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism の
英語版ウェブサイトで紹介されている日本の地理を解説した文章の一部を改変したものである
(https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/english/land.html; 2022年12月12日参照)。
<Geography>、<Climate>、<Disasters>から1つを選び、日本語に完訳しなさい。ただし、解答は別紙の解答用紙に
記入すること。

<Geography>

<Climate>

<Disasters>

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般入試)

令和4年10月1日(土) 実施

科目名
英語

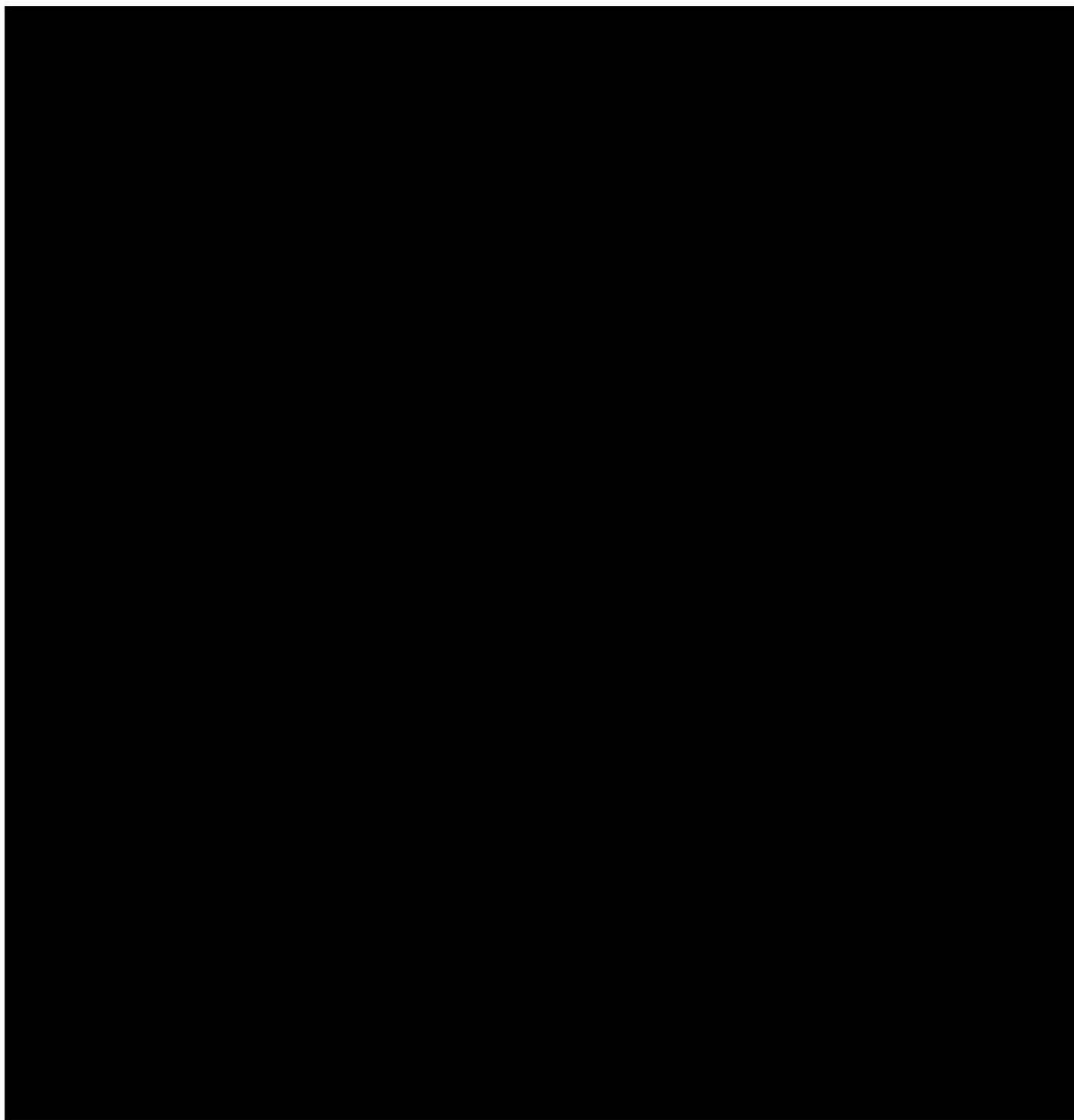
受験番号	氏名

2-1

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。



(Boyle, M. 2014. *Human Geography: a concise introduction*. John Wiley & Sons.)

1 Big Data はどのような特徴を有しているか、本文に即して述べなさい。

2 Geocomputation によって何が可能となるか、本文に即して述べなさい。

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般入試)

令和4年10月1日(土) 実施

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

2-2

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

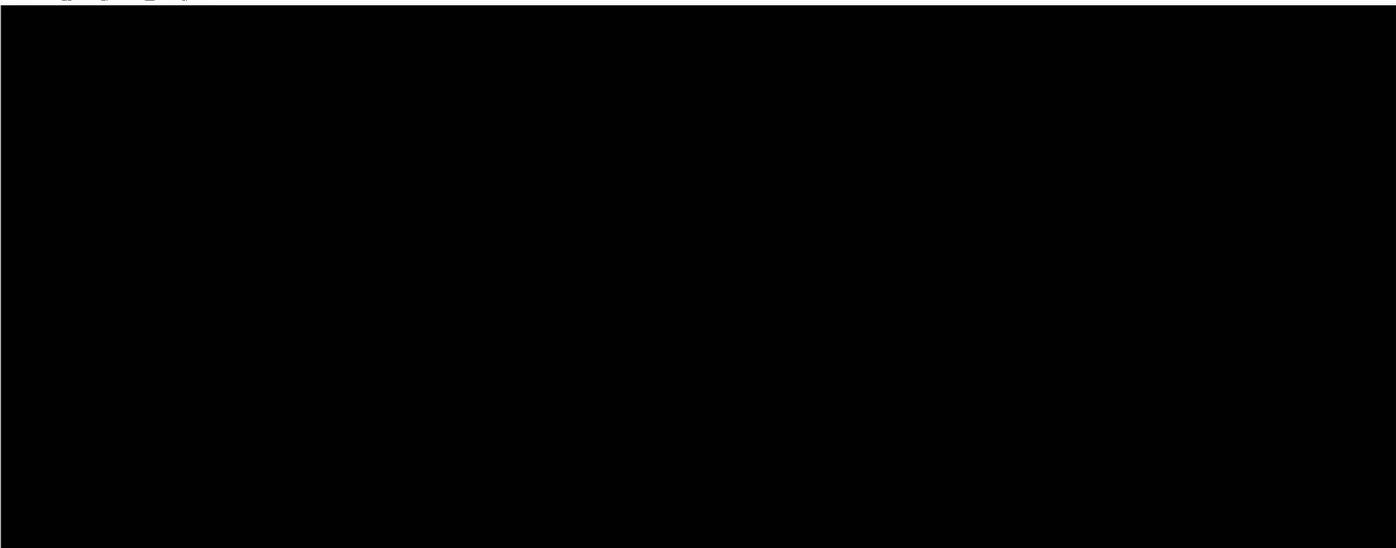
II. 次の英文は Columbia University のウェブサイト “ASIA for Educators” (<http://afe.easia.columbia.edu/>; 2022年7月7日参照)に掲載されている日本の地理を紹介する記事の一部を改変したものである。この英文を読み、次の指定された paragraphs を日本語に完訳しなさい。ただし、解答は別紙の解答用紙に記入すること。

#解答が必要な paragraphs

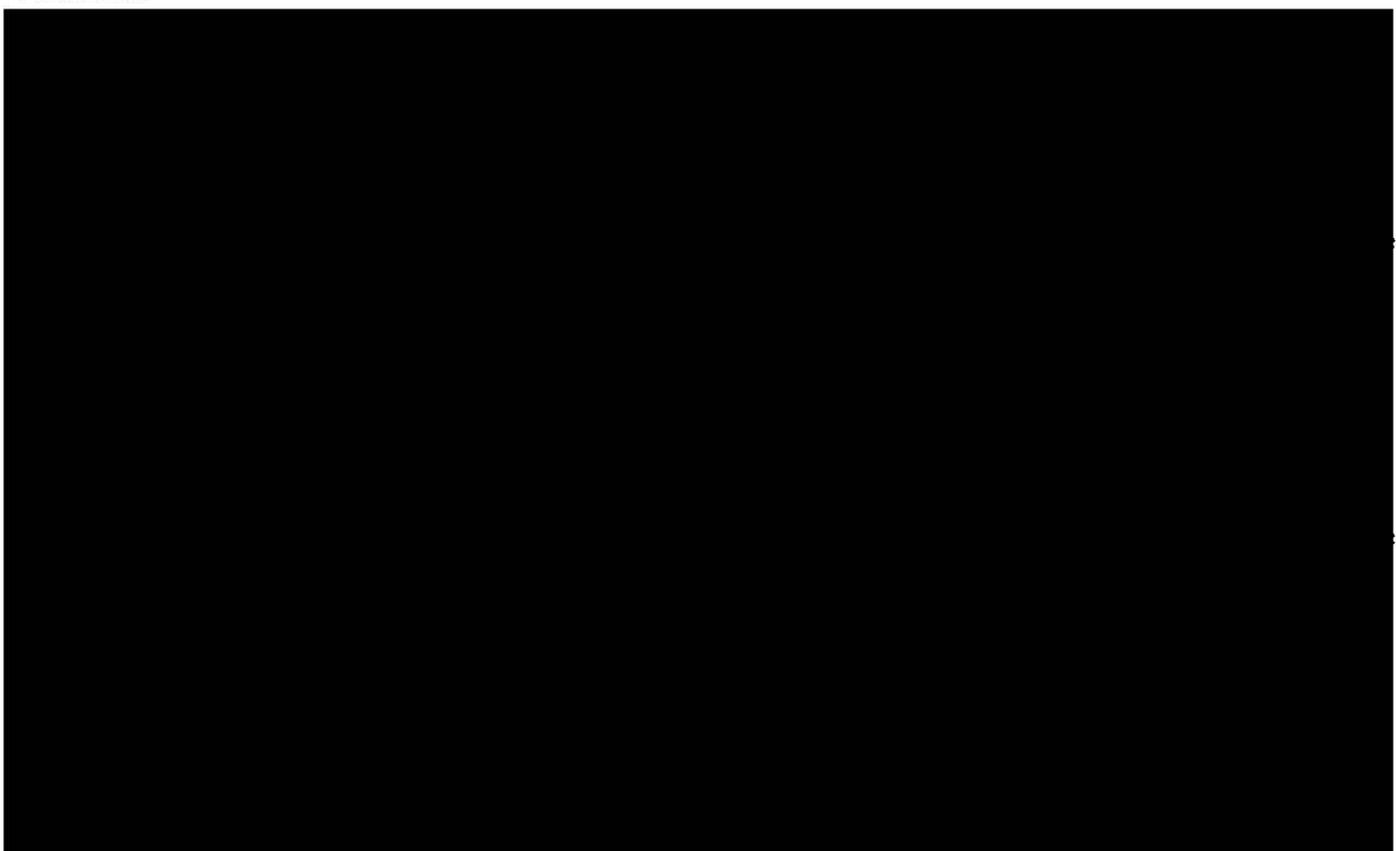
<Topography> (2)・(3) <Climate>(2)・(3)または(3)・(4)

[解答用紙にはいずれを訳したのか明記すること]

<Topography>



<Climate>



令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和7年2月15日(土)実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

- (1) 次の語句から5つを選び、意味するところを説明してください。
「定期市」「伊能図」「タウンシップ」「田園都市」「チューネンの孤立国」「コーホート分析」
「地籍図」「宗門改帳」「ジェントリフィケーション」
- (2) 日本の城下町に関する地理学的研究について具体的な事例を挙げるとともに、研究課題や展望を述べてください。

【解答欄】

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般・社会人入試)

令和6年10月5日(土) 実施

科目名
人文地理学

受験番号	氏名

地理学専攻

- I. チューネンの孤立国についてその内容を説明しなさい。とくにチューネンが述べた地域分化が生じる理由については、詳細に説明すること。なお略図を描いて説明に用いてもよい。

【解答欄】

- II. 「産業立地」「都市再開発」「過疎化」などのテーマを自由に一つ選び、近年の人文地理学における研究動向について述べなさい。具体的な調査・研究の事例、研究者名などを挙げながら論じること。

【解答欄】

裏面を使用する場合はこちら側を上に戻して解答すること

採点	
----	--

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和6年2月17日(土)実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

第1問 次の語句から3つの語句を選択し、それぞれの語句について説明しなさい。

メルカトル図法 城下町 人口転換 プランテーション 緩衝国 言語島
地場産業 創造都市 ルーラル・ジェントリフィケーション 近接性

第2問 航空機などの交通手段やインターネットなどの通信技術の発達で、世界や日本に多様な文化が存在してきた文化を均質化・標準化させるという見解がある一方で、多様な文化の維持・強化に貢献するという見方もある。交通手段や通信技術が文化の均質化をもたらすのか、文化の多様性を強化するのか、どちらかの立場に立って論じなさい。

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般・社会人入試)

令和4年10月1日(土)実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

1. 次の用語の中から5つを選んで意味するところを説明しなさい。

「結節地域」「環境可能論」「郊外第2世代」「ゲーテッドコミュニティ」「多核心モデル」「中心地理論」「世界都市」「入
会権」「行動的環境」「コロプレス図」「ランクライズルール」「ステューデンティフィケーション」

2. 「A. 流通小売革命と情報化が日本の都市空間構造に与えた影響」「B. 脱工業化による東京大都市圏とその他の都市
圏への影響」について、第二次世界大戦後から現在までの日本を念頭において、その動向および将来の展望について、
具体例を挙げながら論述しなさい。なお、A・B両方にまたがって論じてもよいし、いずれか1つを詳述してもよい。

採
点

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和7年2月15日(土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

日本の地方(①北海道、②東北、③関東、④中部、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州、⑨南西諸島)から1つを選び、その地方の有する自然地理学的な特性や特徴を述べなさい。自然地理学的な特性や特徴の対象として、(あ)地形・地質、(い)気候、(う)生物、及びそれらの関連事項とする。解答にあたり、必要に応じて自作の図や表を示してもよい。用紙が不足する場合は、裏面を使用すること(その旨を明記すること)。

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般・社会人入試)

令和6年10月5日(土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

自然地理学に関連した次の専門用語や項目から3つを選び、それぞれについて、詳しく説明しなさい。解答の順序は問わないが、どの用語や項目の説明かわかるように見出しをつけること。

- ・異なる地図投影法による表現の注意点
- ・台風の移動経路と大気循環 ・ WebGIS ・ 氷期と海水準低下 ・ LiDAR 測量
- ・リモートセンシングと植生変化 ・ 地球温暖化と極端気象
- ・都市 3D データ PLATEAU ・ OpenStreetMap

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和6年2月17日(土) 実施

科目名
自然地理学

受験番号	氏名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

最近100年程度または10年程度で生じている自然環境(地形, 気候, 陸水・海洋, 土壌, 生物分布など)の変化現象のうち, 人為的な要因の影響を受けている現象を2つ取り上げ, 以下について述べなさい。

- ① その現象の具体的な内容
- ② その現象が顕著に生じている地域
- ③ そのような現象が生じるメカニズム
- ④ その現象がもたらす社会的な影響

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般・社会人入試)

令和5年9月30日(土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

下図は、日本の気候区分の一例である。図を見ながら、以下の(1)~(3)の問いに答えなさい。
解答は別紙の解答用紙に記述すること。

- (1) 各気候区の特徴を簡潔に述べよ。そのうえで、日本の気候が下図のように区分される理由について、気候因子を3つ以上挙げて説明せよ。
- (2) 下図から気候区を一つ選択し、その気候区における地形、植生、発生頻度の高い自然災害について具体的な例を挙げながら説明せよ。そのような特徴がみられる理由も述べること。
- (3) 日本以外の国を一つ挙げ、その国の気候区分と自然地理学的な特徴との関係について、あなたの知るところを具体的に説明せよ。

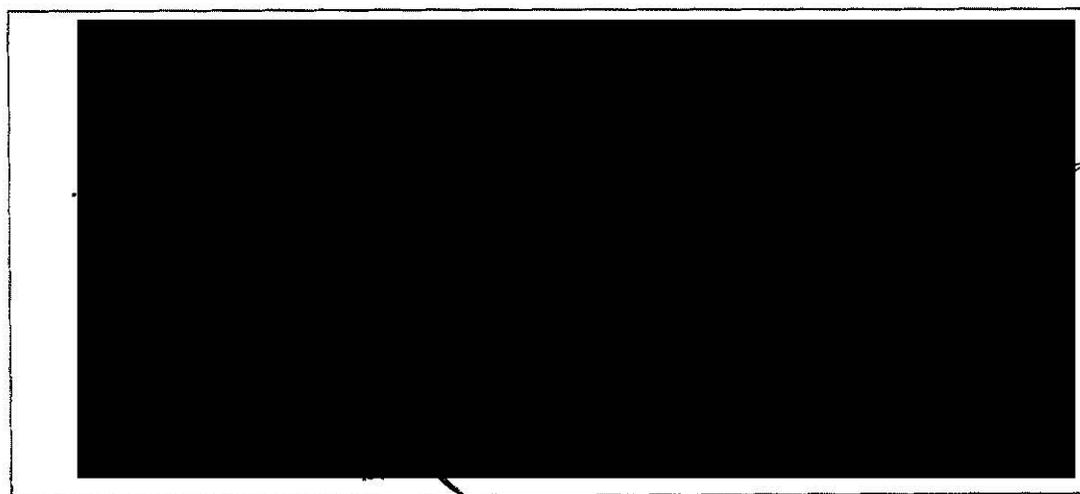


図. 日本の気候区分

矢野恒太記念会編『日本国勢図会 2023/24』より

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和5年2月25日(土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の問に答えなさい。

- 以下の用語の中から3つを選び、それぞれ自然地理学的観点から200字程度で説明しなさい。
(1) 湿潤変動帯 (2) 山体重力変形 (3) 瀉湖 (4) MIS 5e (5) アリソフの気候区分 (6) クールアイランド
(7) 自噴井 (8) 高層湿原 (9) 偏形樹 (10) DEMとDSM
- 最近の10年のうちで、日本または外国で発生した自然災害または異常気象現象の具体例を一つ取り上げ、その概要と地理学的観点で見た特徴を500字程度で記述しなさい。

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般・社会人入試)

令和4年10月1日(土) 実施

科 目 名
自然地理学

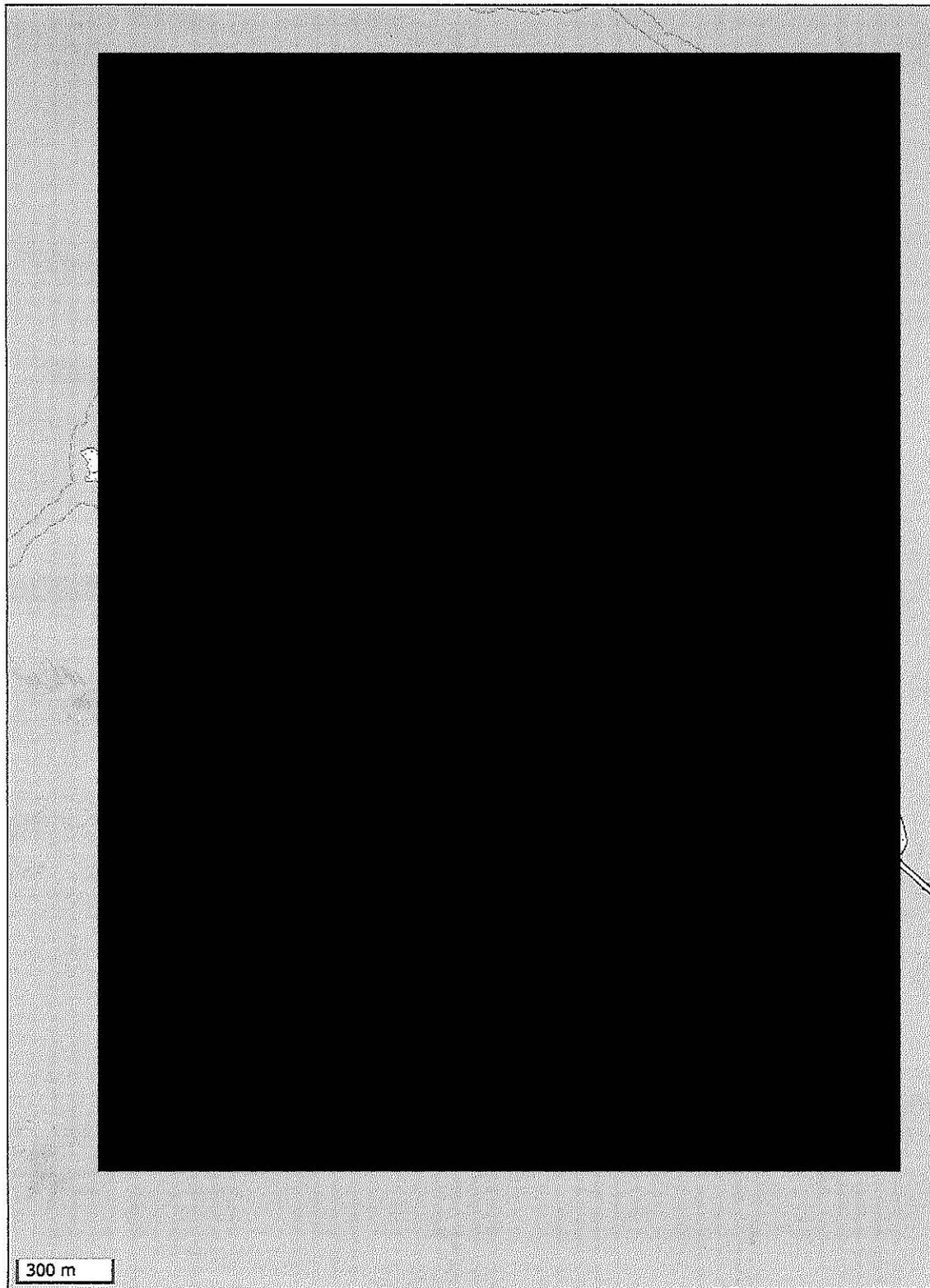
受験番号	氏 名

地理学専攻

次の問に答えなさい。解答は別紙に記すこと。

【解答は別紙解答用紙へ】

- 以下の用語の中から3つを選び、それぞれ自然地理学的観点から200字程度で説明しなさい。
(1) 多重山稜 (2) 氾濫原地帯 (3) 干潟 (4) テフクロクロノロジー (5) 小氷期 (6) 年降水量分布
(7) 地下水質 (8) 高山植生 (9) マングローブ (10) UAVによる測量調査 (11) ウェブGIS
- 以下の図は、沖縄県の池間島を地理院地図で表示したものである。この島の地形、気候、水文、植生、土地利用の特徴について、500字程度で記述しなさい。



令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和7年2月15日(土) 実施

科目名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

問題1 ヨーロッパ各地で使用されている言語は、その多くがゲルマン語派、ラテン語派、スラブ語派のいずれかに属する。またヨーロッパ各地で信仰されている宗教については、キリスト教のプロテスタント、カトリック、正教が主なものである。これをふまえて、ヨーロッパ各国における、最も多くの国民に使用されている言語が属する語派と、最も多くの国民に信仰されている宗派の組み合わせを、人口の多い国を中心に、できるだけ多くの国について説明しなさい。

問題2 20世紀後半から現在にかけての日本国内の人口移動が、日本の各地域をどのように変容させたかを説明しなさい。その際、「大都市圏と非大都市圏」、「大都市圏内の都心と郊外」の対比についてはとくに重点的に述べること。

令和6年10月5日(土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

地理学専攻

2-1

【解答は別紙解答用紙へ】

次のA, B, Cの3書籍の目次を和訳すると、(A)(B)(C)のようになる。(1) A, B, Cの3書籍の主題をそれぞれ1~2行で簡略に説明しなさい。(2) (A)(B)(C)を手がかりにして、それぞれの書物が採用している主題へのアプローチの仕方・特色を述べなさい。

A Claudia J.Carr, 1977, *Pastoralism in Crisis. The Dasanetch and their Ethiopian Lands*. (シカゴ大学地理学科研究論文 no. 180)シカゴ大学地理学科 『危機の中の牧畜。Dasanetch 族とエチオピア(南西部)の彼らの土地』

B J.V.Thirgood, 1987, *Cyprus: A chronicle of its forests, land, and people*. ブリティッシュコロンビア大学出版社 『キプロス：その森林、土地、人々の年代記』

C T. P. Bayliss-Smith, Richard Bedford, Harold Brookfield and Marc Latham, 1988, *Islands, Islanders and the World: The colonial and post-colonial experience of eastern Fiji*. ケンブリッジ大学出版社 『島々、島民、世界：フィジー東部地域の植民地期と植民地以後の経験』

- (A)
1. システムの概観
 - 一つのシステムとしての社会と環境との関係
 - Dasanetchの人々とその環境の概観
 - Dasanetchの土地における最近の政治史
 2. Dasanetch 族の放牧地の環境
 - 東部アフリカの放牧地の概観
 - Lower Omo (低 Omo) 盆地の地形と気候
 - 植生と主要因子
 - 自然平原と劣化が進行する平原の群落の研究
 - 要約と現在の放牧地の状態
 3. Dasanetch 族の河川環境
 - 序
 - Omo 川
 - 現在のデルタ
 - Kolon 河道と Il Nakwa(Kibish 川)
 - Dasanetch 族にとっての河川環境の変化の意味
 4. Dasanetch 族の社会関係の概観
 - 家畜(牛)の役割
 - 部族の分節状況
 - Dasanetch 族の言語
 - 半族・部族・年齢集団の関係
 - 結婚と嫁入り道具
 - 村の社会組織
 - 法や政治の仕組み
 - 部族の分節(部族の下部単位)群の関係
 - 議論と総括
 5. Dasanetch の生産様式と生産物の利用
 - 序
 - 様々な生産：ヴァリエーションの幅
 - 生産諸力
 - Dasanetch の伝統的な生産単位
 - 家畜飼育：主要な生産部門
 - 家畜飼育に代替する自給生産
 - 園芸／漁撈／採集／狩猟
 - 季節移動と集落
 - 生産の目標(到達点)、富、余剰
 - 交換(経済)の関係における社会経済的相互作用
 6. システムの展開と生産方式の概念(考え方)
 - システムの全体的特徴
 - 時間軸の中での S/E(環境・社会)システム
 - 1 システムのオーバーレイ：生産方式の概念(考え方)
 - システム変化の諸力と変化への抵抗：ポジティブなフィードバックとネガティブなフィードバック
 7. 近年のシステムの変化と解決策の構築
 - 序
 - Dasanetch の S/E(環境・社会)システムに対する主たる2つの変化の投入：領域の制約と湖の水位の変化
 - 生産の多様化：システム内の(内で完結する)解決方法？
 - システムの変化と生産方式の概念(考え方)
 - 要約：Dasanetch の土地と社会経済の現在の状態
 - Dasanetch の S/E(環境・社会)システムの不安定の部分的解決と完全な解決の方法

(問題文は次頁に続く)

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

- (B)
- 第一部 キプロスの基礎的条件
1. 歴史的視角
 2. 島の概説
 3. 住民と経済
 4. 1878年以前のキプロスの森林史
 5. 1878年における森林
- 第二部 イギリスの占領下の森林の展開
6. 初期の1878-85年のころ：最初の仕事、推薦、計画
 7. 森林行政にとっての土台を据え、インフラを創る 1886-1921年
 8. 技術的発展を加速する 1922-60年
 9. 山地の森林の保護政策の結果：イギリス占領末期のキプロスの森林
- 第三部 エピローグ
10. 共和国制下の森林の25年
- (C)
- 前文：「人間と生物圏」プログラムと東部フィジープロジェクト
1. 島々、島民、事件(出来事)の研究について
 - プロローグ
 - 東部の島々
 - 自らへの問い
 - 結論
 2. 島の景観
 - 先史地理を再構成する
 - 島の人口：平衡状態あるいは危機？
 - 先史地理の3000年
 - 安定した生態系？
 - 変化している海岸線
 - 後退している(縮小している)森林
 - 蓄積する沼沢
 - 劣化した景観の政治経済学
 3. 周辺部における資本主義と植民地主義
 - フィジーにおける資本主義：起源
 - 不均等な空間的インパクト
 - 初期植民地時代における生産と再生産
 - 法・規則を変更する 1990-12年
 - 小作農民(小農民階級)の確立
 - 連続性・継続性があてにならない 1930-60年
 - 後期植民地時代：土地を自由化する
 4. 物理的・経済的外部性(外部効果)とその影響
 - 外部性の(直接の関係を有さない)物理的諸力
 - 経済的起源の外部性の諸力
 5. 変化下にある社会における脆弱性
 - 脆弱な非マルクス主義政治経済にむかう
 - 脆弱性の進展：Taveuniの事例
 - どの集団が最も脆弱か？
 - 結論
 6. 過剰に甘やかされた周辺部？
 - 意識をあやつる：プランニングのレトリックの寄与
 - 災害への対応
 - 人口減少と人口の増加
 - 結論
 7. 適応化する村々：BatikiとKabara
 - 5つの島に所在する村々
 - Batiki/Kabara
 - 結論
 8. 適応又は停滞：Koroの事例
 - Koro：永続的な見込みがある島
 - 島嶼経済：Nacamaki
 - 市場の法制化
 - 結論
 9. 変化の(変化した)村：TaveuniとLakeba
 - Taveuni/Lakeba
 - 結論：富農層(上層農民)と無産階級に向かつて
 10. 島の周辺部のための地域発展
 - 諸問題と諸矛盾
 - 東部フィジーと自由市場(青空市場)
 - プランニングの境界条件(対象地・非対象地を分ける条件)
 - 変化に向けたプロジェクト(企画)
 - 輸出に基づく発展に対する疑問
 - 輸送の拘束・束縛を緩和する
 - 議論のより広範な意味
 11. 島の諸研究と地理学
 - 地理学における島々
 - 島民の時間地理学
 - 島々の合理的な管理
- 付録：UNESCO/UNFPAの東部フィジープロジェクトの出版物・報告書

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和6年2月17日(土) 実施

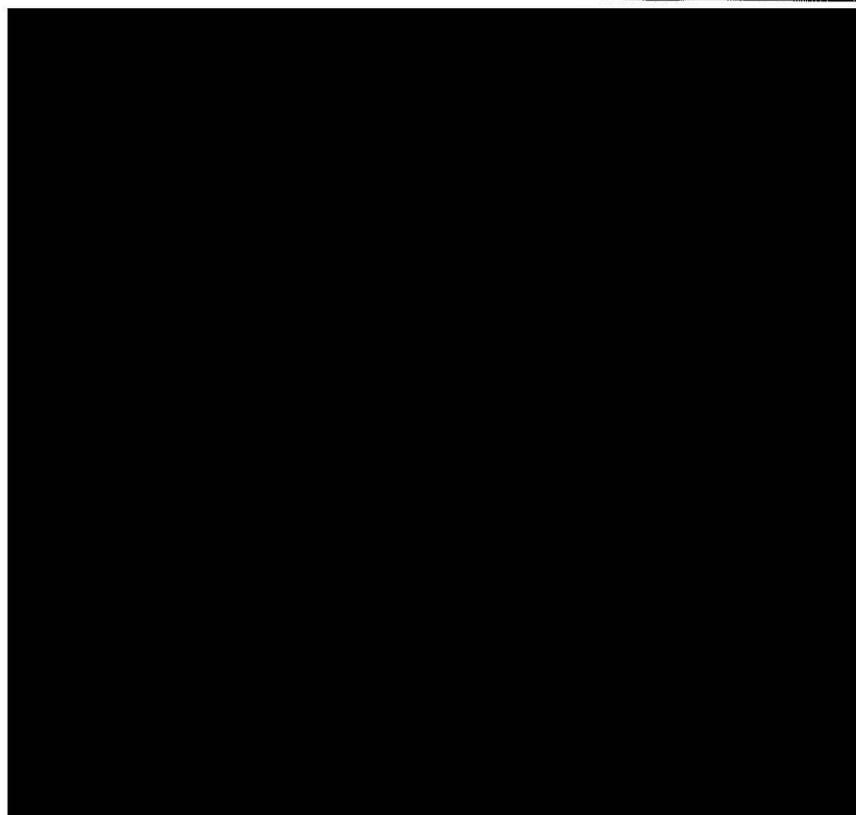
科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

1. 地理学において「地域システム」の言葉は、一義的に定まった用語ではない。地理学史を紐解くと、1960年代半ばまでに少なくとも2つの異なる研究群を「地域システム」に関する研究とすることができる。
ひとつは、地球の表面が大小の地域群の集合によって成り立っていることを示し、具体的に大小の地域群の規模や境界線や働きを明らかにする研究群である (A)。
もうひとつは、site の研究と対比して situation の研究と称される研究群である。これはその後「空間的相互作用」の研究とも呼ばれている (B)。
(A) (B) のいずれか一方を選択して、その「地域システム」の説明と具体的な研究例の紹介をなさい。
2. 下の「都市システムと空間スケール」の図 (森川洋 1982) を解説しなさい。



令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験 (一般・社会人入試)

令和5年9月30日(土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

1. システムとは何か定義づけたうえで、地域をシステムとして捉える方法と意義について述べなさい。
2. 世界や日本における特定の領域を具体的に一つ取り上げて、地域システムとしてその領域を捉えて記述しなさい。

令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

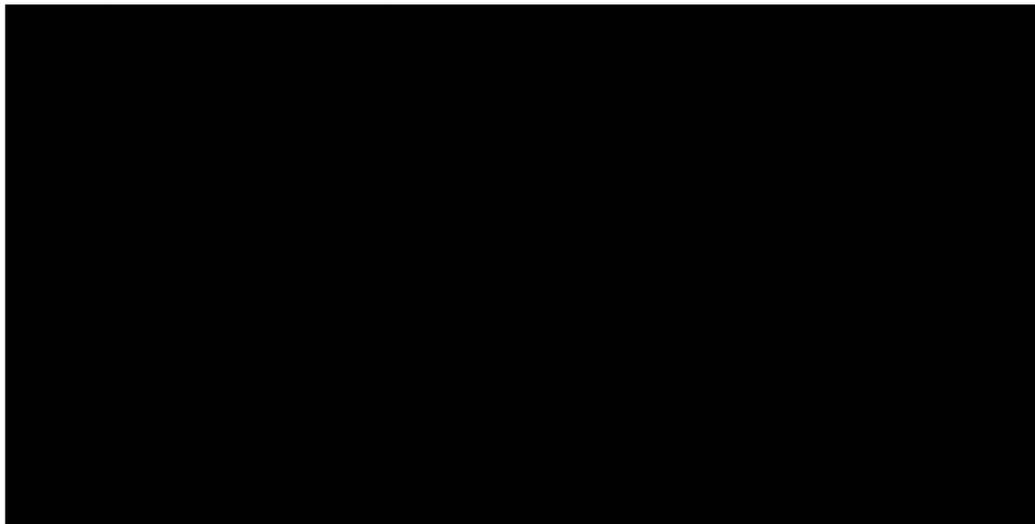
令和5年2月25日(土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

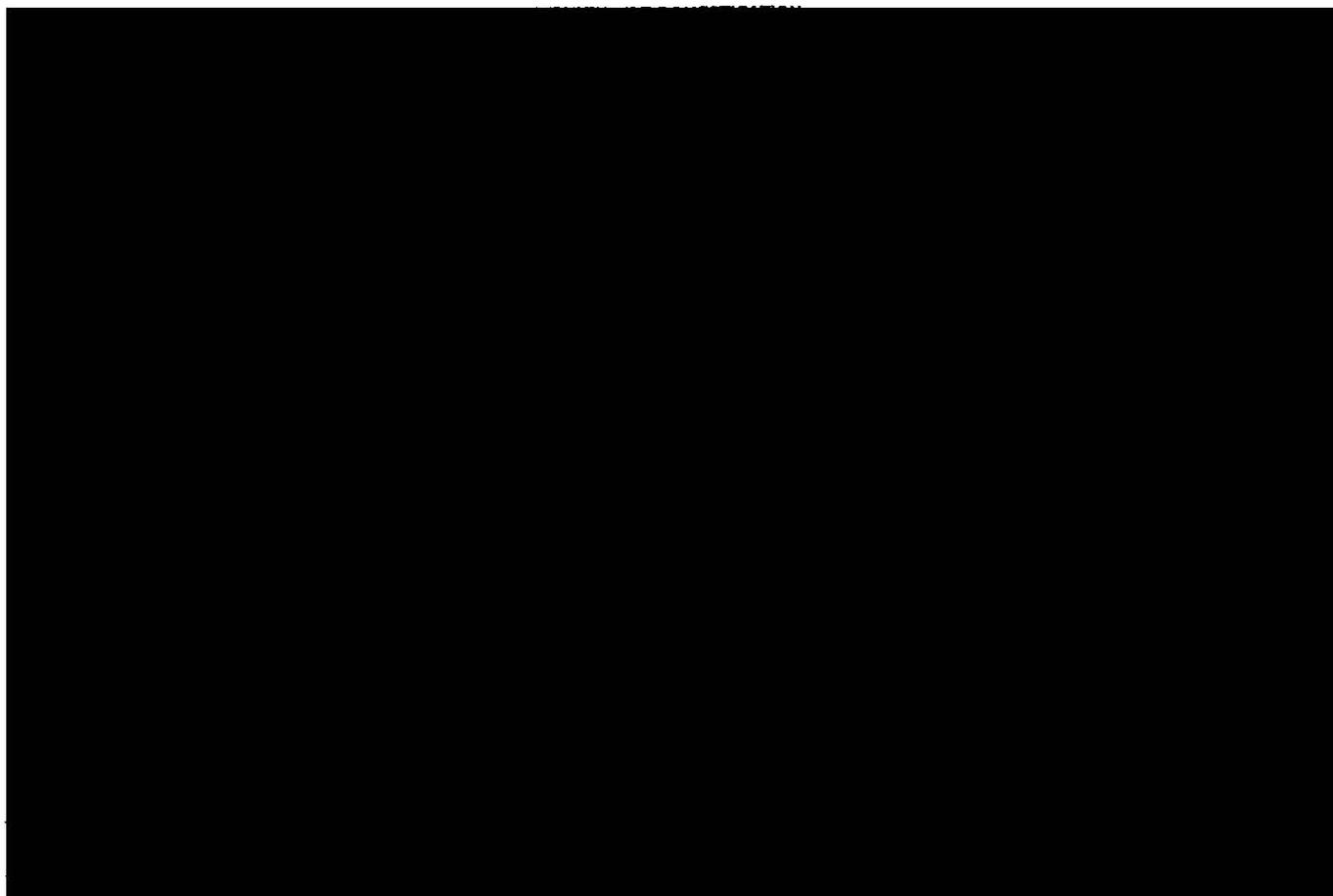
地理学専攻

問1. 次の「人類の進化段階と分布域の模式図」(馬場悠男 2014 による)に基づいて、初期猿人から新人(現生人類)にいたる誕生と進化の概要を、分布域の拡大と組み合わせて述べなさい。



問2. Sauer, C.O., 1952, *Agricultural Origins and Dispersals*. (『農業の起源と伝播』)の図に関して、次の問いに答えなさい。なお、図は Haggett, P., 1990, *The Geographers' Art* から引用した。

- (1) 図が示す内容を簡条書きで数点に整理しなさい。
- (2) 図は、1500年頃の世界における農業と牧畜(搾乳)の範囲を示している。1500年頃の範囲を示したのはなぜか。



令和5年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第I期入学試験(一般・社会人入試)

令和4年10月1日(土) 実施

科目名
地域システム論(地誌学)

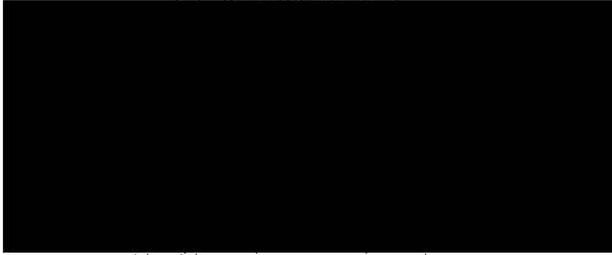
受験番号	氏名

地理学専攻

1. 地誌・地域地理学のスタイルを模式的に示した次のa, b, cの図に関する下の問いに答えなさい。

【解答は別紙解答用紙へ】

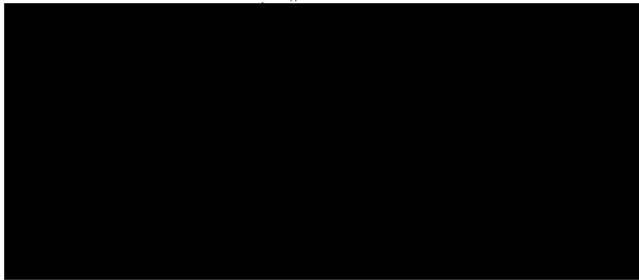
a



c



b



注) a, b, c のフローチャートは Gerard A. Hoekveld(1990) 'Regional geography must adjust to new realities' による。

- 次の①、②の説明は、それぞれ a, b, c のどれの説明として最も適しているか。それぞれ一つ選びなさい。
 - 人口や自然との相互作用、広域から及ぼされる文明や流通経済の影響を受けて、生活の基本的なしくみが成り立つ。生活の基本的なしくみが環境(d)を形成し、環境(d)が景観を生み出す。
 - 人口や自然と、生活構造や地理的にまとまった人間集団との相互作用が、地域を分化し、各地に特色ある地域が生まれる。
- a, b, c のなかで、地球上の諸地域間の相互作用がより一層活発になった時代の地誌・地域研究のスタイルを示すものを一つ選びなさい。
- (1)の①の文の(d)の「環境」は、一般的な「自然環境」の意味ではない。どのような意味合いで用いられているか。簡略に説明しなさい。
- ヘットナーやハーツホーンの「コロロギー」概念に最も近いものは、a, b, c の中のどれか。

2. 地域構造に関する、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 同心円によって地域構造を説明する理論(仮説)を三つ挙げなさい。

(2) 景観を指標にして地域を分類し比較研究する例として最も適するものをア〜クの中から二つ選びなさい。

- ア 高谷好一によるアジアの稲作類型の研究
- イ ホイトやハリス&アルマンによる都市内部構造の研究
- ウ 民族学者印東道子による人類の移動誌の研究
- エ A. ウェーバーによる工業立地の研究
- オ E. ポズラップによる人口成長の諸条件に関する研究
- カ D. ホイトルセイによる世界農業地域区分の研究
- キ 建築学者永井規男による近畿地方の民家地域区分の研究
- ク 東条操による日本の方言地域区分の研究

3. 大航海時代、産業革命、グローバリゼーションのなかから任意の一つを選び、それに伴う世界の地域構造や地域間関係の変革を論じた研究者一名とその研究者の説の概要を述べなさい。